

平成27年8月26日

各報道機関 御中

University of Yamanashi International Symposium  
UYIS 2015  
山梨大学 国際シンポジウム開催のお知らせ

山梨大学では、文部科学省平成24年度科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及定着事業」が採択され、現在5名の特任助教が研究活動を行っております。

この活動の一環として、国内外から有識者を招いての講演、若手研究者の研究発表を行う国際シンポジウムを開催させていただくこととなりました。

つきましては、イベント情報掲載等よろしくお願いいたします。

記

- 開催日時 平成27年9月8日(火) 14:00 ~
- 会場 山梨大学甲府キャンパス 情報メディア館5階 多目的ホール  
(山梨県甲府市武田4-3-11)
- 演題等 招待講演: Thomas R. Shrout 教授 (The Pennsylvania State 大学 (アメリカ))  
Alexander Orlov 准教授 (Stony Brook 大学 (アメリカ))  
口頭発表: 本学テニュアトラック教員2名  
※ 詳細は、別添資料をご参照ください。
- 対象者 市民一般
- 参加料 無料
- 申込方法 事前申し込み不要
- 問い合わせ先 山梨大学 先端領域若手研究リーダー育成拠点  
〒400-8511 甲府市武田4-3-11  
TEL: 055-220-8409 FAX: 055-220-8781

〈広報担当〉

山梨大学 総務部総務課 広報グループ  
TEL: 055-220-8006 FAX: 055-220-8799  
E-mail: koho@yamanashi.ac.jp

このたび、山梨大学国際シンポジウム「University of Yamanashi International Symposium UYIS2015」を開催致します。今年度は「Advanced Materials for Sustainable Future」と題して、持続可能な社会を実現するための最先端材料開発をメインテーマに、9月8日（火）14：00（受付開始13：30）より開催します。国外より2名の有識者を招いて講演を行っていただくとともに、本プログラムに携わる若手研究者による研究成果発表を行います。

本シンポジウムでは、我々人類が今後持続的社會を実現する上で課題となる、エネルギー問題、資源枯渇問題、環境問題などに対し、材料科学の観点からそれらの問題へと取り組んできた研究をメイントピックスとして取り上げます。環境への影響が懸念される毒性元素、希少な元素の使用を避け、ナノスケールに至るまで緻密に設計された“高性能電子材料”に関する世界最先端の研究開発状況、そして恒久的に使用可能な太陽光エネルギーを利用した“クリーンなエネルギー変換技術”として注目を集めている、人工光合成等のシステムで中核を担う世界最先端の高性能複合材料の開発状況について紹介します。招待講演として、The Pennsylvania State University の Thomas R. Shroud 教授、Stony Brook University の Alexander Orlov 准教授をお招きし、御講演いただく予定です。また最先端機能性材料の創製を目的としたユビキタスナノ材料創成研究分野、クリーンエネルギー・光機能材料分野にて研究活動を行っている山梨大学の特任助教2名による、研究成果についての口頭発表を行います。

【招待講演】 高性能圧電セラミックスと単結晶：最新動向と応用に求められる性能  
Thomas R. Shroud (The Pennsylvania State University, USA)

【招待講演】 エネルギー環境問題解決を指向した新規ナノ材料開発  
Alexander Orlov (Stony Brook University, USA)

【口頭発表】 導電体/絶縁体ナノ複合キャパシタの微細構造と誘電特性  
上野 慎太郎（山梨大学テニュアトラック普及・定着事業 特任助教）

【口頭発表】 光-化学エネルギー変換に向けた高活性多電子移動触媒の創製  
高嶋 敏宏（山梨大学テニュアトラック普及・定着事業 特任助教）

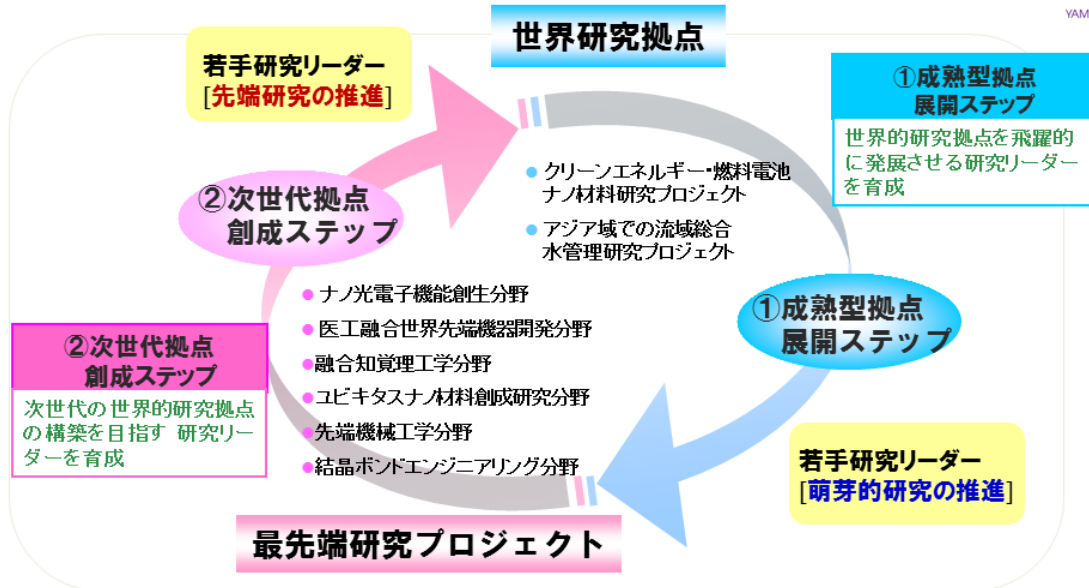
加えて融合知覚理工学分野、先端機械工学分野、結晶ボンドエンジニアリング研究分野における取り組みをポスターセッションにおいて紹介します。詳細については山梨大学 先端領域若手研究リーダー育成拠点HPをご覧ください。

<http://www.eng.yamanashi.ac.jp/tenure-track/>

<http://www.eng.yamanashi.ac.jp/tenure/>

## 【山梨大学テニュアトラック制度】

山梨大学では、平成 21 年度から「若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業」（旧科学技術振興調整費）により構築してきたテニュアトラック制度による人材育成システムを全学に普及・定着させるため、「テニュアトラック普及・定着事業」（科学技術人材育成費補助金）の支援を受け、学長を総括責任者とした体制を構築し「若手研究者の自立した研究環境の整備・確立」及び「全学的な人事制度改革」を実行しています。



本学のテニュアトラック制度の特色は、既に世界的研究拠点として樹立している分野を飛躍的に発展させる若手研究リーダーを育成する「成熟型拠点展開ステップ」と、次世代の世界的研究拠点の構築を目指す若手研究リーダーを育成する「次世代拠点創成ステップ」の2つのステップにより、スパイラルアップ的な拠点形成と人材育成を目指すところにあります。

また、「先駆者メンター」、「主メンター」、「サブメンター」と複数のメンターを配置し、多様な観点からアドバイスができるという特色ある複数メンター制度を構築しています。

